



# RESERVE ORDER

※18歳未満の閲覧・購入を  
禁止いたします。

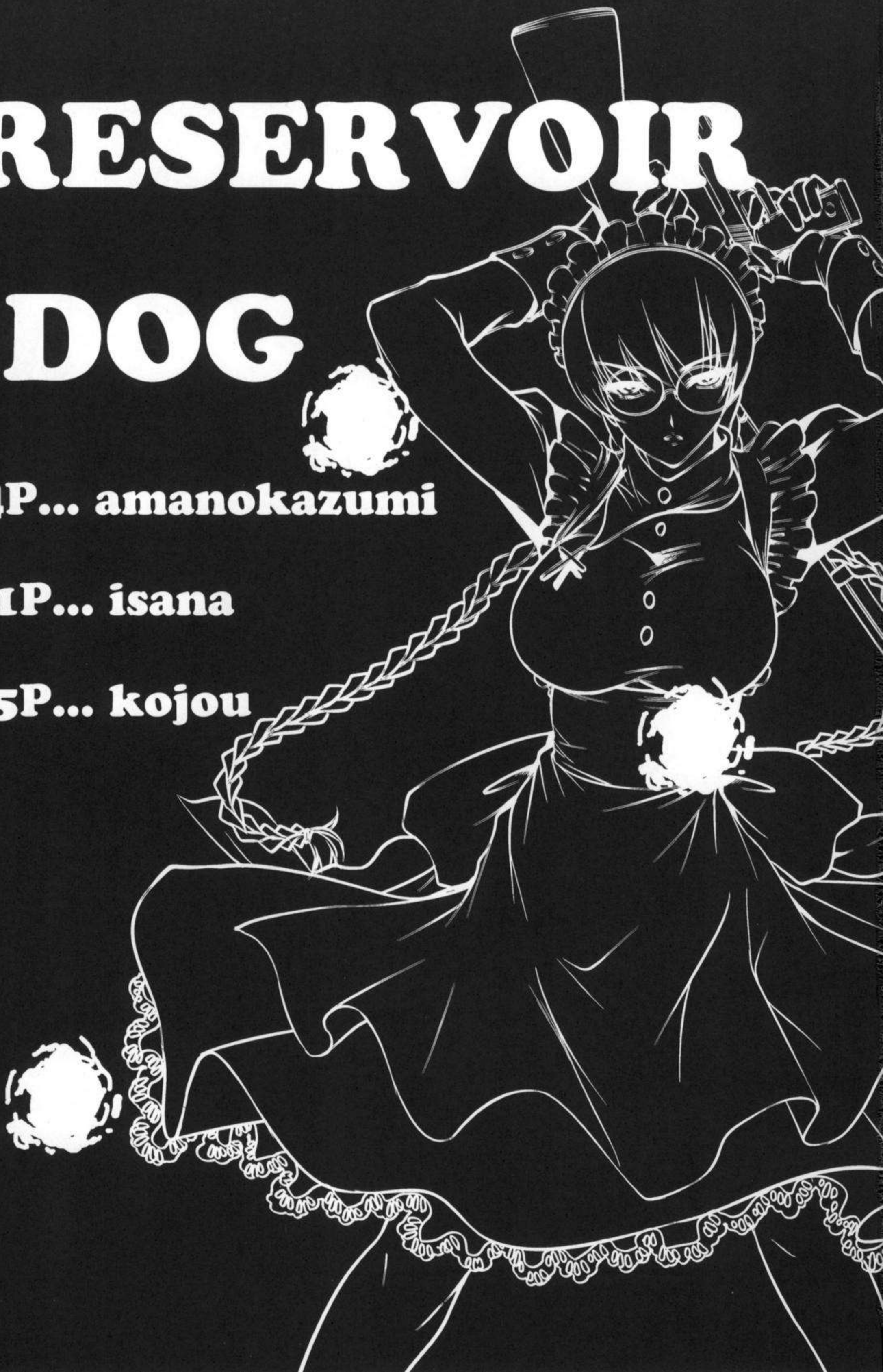
# RESERVOIR

## DOG

4P... amanokazumi

21P... isana

25P... kojou



群れるほどの  
血の二オイ…

はあ

凄く高ぶるの

どうするの？  
いえ…

れっ

はっ

どうしたいの？

オレを試すな  
試すのはオレだ

ロベルタ…

待って…  
破いたりしないで

裸で奴らと  
戦うのは御免  
だわ…

るんっ

るんっ



ねえ...  
このあとの  
事を考えたら...

んっ...

あ...

はあ

んんん

私は...

あ

オレと戻れ  
猟犬

ええそうね...

はあ

あ

退屈な場所  
だったわ...

350...

ロベルタ...

田舎屋敷の女中  
として飼われて  
いても  
血のニオイには  
抗えまい



はい、若様…



ロベルタっ！



随分うなされて…

よほど恐い夢を  
御覧になられた  
のですね



ロベルタは  
ここにおります

ロベルタ…

うん：  
あの夜の夢を  
見たんだ

ロベルタが  
あの男に  
奪われる夢を：

うん：  
わかってるよ  
ロベルタ  
でも：

ご安心を若様  
私がお仕えするのは  
ガルシア・ウエルナンデス  
ラブレスア様ただ一人：

例え体は差し出しても  
心まで差し出すことは  
決してありませんわ

「オンナ」  
というのは  
武器になるのです

特に大人の  
世界では：

はいはい  
どうぞ僕は  
まだ子供さ



そんな事  
ございません

私に銃を構えた  
時の若様  
とても男らしく  
ございましたよ



あ、いえ…  
そんなつもりで  
申した訳では…

ロベルタに  
僕は一人前の  
男として  
見られてないんだ



この際だから  
はつきり  
いっておくよ  
ロベルタ

僕は君を  
一人の女性として  
見ている

アアア

若様…

まさか私を  
そんな風に  
見てくれて  
いたなんて…

主の手先と  
なれど

所詮私は  
番犬の身…

ですが若様…

伴侶となる  
には相応しく  
ないのです…

……





お静かに  
若様…

誰っ！



今宵は若様を  
一人の男として  
お尋ねいたしました

え…  
ロベルタ…  
それって…

シッ…  
おしずかに

他の女中に  
気づかれて  
しまいます…

これより先に  
行う事は  
二人だけの  
秘密ですよ



若様...

んっ...  
あっ...  
グニッ

こちらも随分大人になられたのでね

ロベルタ...

ああっ!

ああ...  
これが若様の香り...

ロベルタっ

あっ...  
はあっ



ななんだか…  
変だよ…

はあ

はあ

あああつ!

んふっ

あつ…  
ロベルタ…  
激し…

ど、どうしたの  
ロベルタ?

んふっ

んふっ

んふっ

んふっ

私の事を  
一人の女性として  
見てくださる  
のでしよう?

ろ、ロベルタ…

あっ…

ならば  
私を一人の女として  
満足させて  
くださいまし

ふああああっ！

だ、だけど…  
ロベルタ…

こんなの…  
ぼく…はじめてで…

ああああっ！

あら？もう  
限界ですか？  
まだ入れたばかり  
なのに…

だ…だ…  
だ…だ…

そんな事では  
ご学友にも  
笑われてしま  
いますよ…

あああ！

男の子なら  
我慢なさいまし

まって…  
ロベルト…  
ぼくもう…



ふあああああああ

んっ

んんんっ!

んんんっ  
んんんっ  
んんんっ

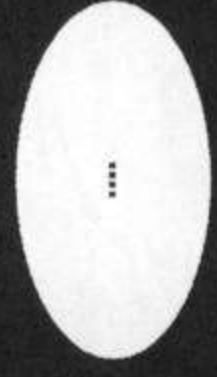
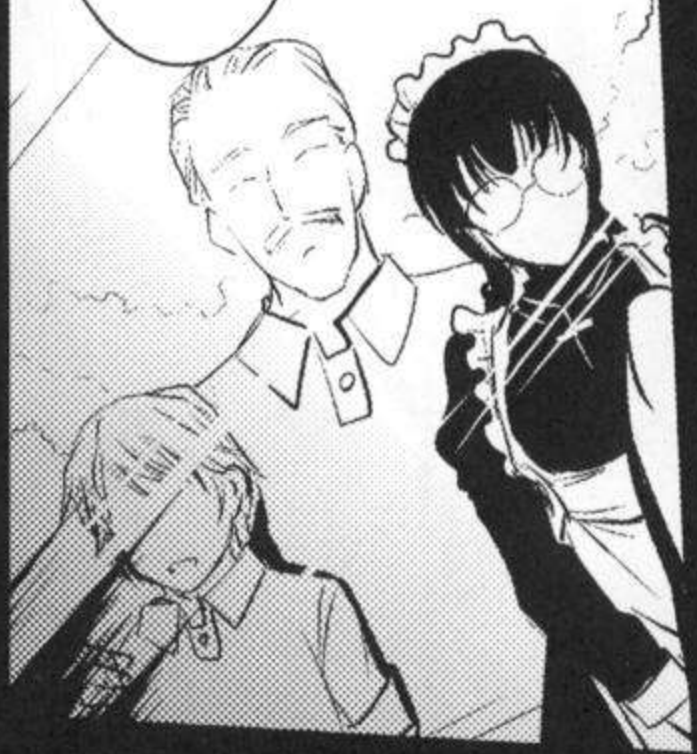
んんんっ



婦長さま  
こんな時間に  
何処へ？

ご当主様に  
救われた大恩

ラブレス家の  
犬として  
お返しする  
つもりでした

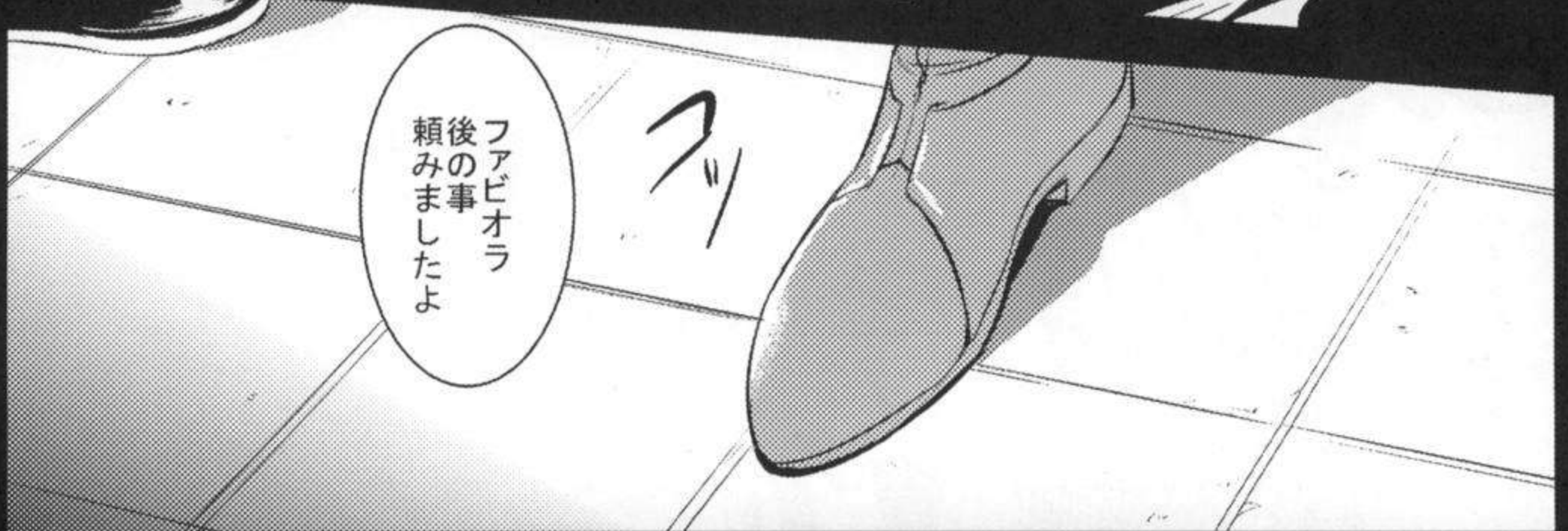


しかし  
ラブレスの血に  
加わるという  
なら話は別！

この穢れた血で  
ラブレスの名を  
汚すわけには  
いきません



フアビオラ  
後の事  
頼みましたよ



たしかに  
婦長さまの手は  
たくさん過ちを  
を犯したかも  
しれない……

ヒッ

だからこそ  
その手は何が過ちかを  
知ってる手じゃ  
ないのかい！

でも……

あのお人よしの  
ぼっちゃまに  
必要なのは  
アンタなんだよ！

そんな事も  
解らないようなら  
どこへでも  
好きな所に  
行けば良いさ

だけどね  
ひとつだけ  
はつきり言える

例えアンタが  
何処へ行こうと

あの坊ちゃんは  
必ずアンタを  
連れ戻しに行く  
からね

……



それは困ったわ…

アアッ

アフリカじゃ  
美味しいお茶を  
淹れてさしあげ  
られないじゃない…

ファビオラ  
行きますわよ…

え…  
どちらに？

もう夜が明けて  
しまいます…

若様に  
モーニングティーの  
ご用意を

は、はい  
婦長様！

さあ、若様の  
朝食のご準備を  
しなければ

あ…婦長様  
それは私が…汗

END

# RESERVOIR DOG



# RESERVOIR DOG



ムムムニッ

若様、夜分  
失礼いたします。

やあ、ロベルタ  
遅かった…ね？

ギョ

夜のお相手を務めに  
参りました。

いらっしやい

今日は一段と  
スゴイ格好だね。

あの…  
似合いませんか？



あのロアナプラの  
一件が終わってすぐ

僕とロベルタはあっさり  
男女の関係になった



そしてそれ以来  
毎夜、彼女はこうして  
僕を求めてくるのだ。





ふふっ  
ロベルタは本当に  
エッチだなあ…



後ろからしててください  
早く…  
お願いします。



いくよ…



ひあ…っ  
は、入ってくる…





おわり



おそろいいただき  
感謝です!

ロベルタさんは  
やはりMだと  
思います!!

by kejou



<奥付>

発行：灰色工房  
発行日：2010年8月15日  
印刷：株)ねこのしっぽ  
連絡先：doujin1@amanoissui.com

<http://www.amanoissui.com>



**RESERVOIR DOG  
HAIROKOUBOU**

**FOR ADULT ONLY**